

N8503-51 ディスクミラーリングコントローラ増設時の注意 補足 1

1. インストール手順 補足

以下の本体装置につきましては、本体装置側のマニュアルにOSインストール手順が明記されていませんので、ここに補足いたします。

NEC Express サーバ/ワークステーション
Express5800 シリーズ

N8500-474/484/513/514
Express5800/110Ec
Microsoft Windows NT 4.0 Server

N8700-109/110
Express5800/54Wa
Microsoft Windows NT 4.0 Workstation

【マニュアルセットアップ】

マニュアルセットアップで Windows NT Server 4.0 日本語版[N8500-474/484/513/514] (Windows NT 4.0)または、Windows NT Workstation 4.0 日本語版[N8700-109/110] (Windows NT 4.0)をインストールする手順を次に示します。以下、「Windows NT 4.0」と呼びます。

作業を始める前に次のディスクや説明書を用意します。

EXPRESSBUILDER(CD-ROM)

Microsoft Windows NT 4.0 日本語版(CD-ROM)

Windows NT 4.0 Service Pack 3(CD-ROM、Service Pack 3 を適用するときのみ)

Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER(または 1.44MB フォーマットの 3.5 インチフロッピーディスク 2 枚)

【重要】「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はシームレスセットアップを使用しないでインストールするときに必要となるフロッピーディスクで、Windows NT のインストールを始める前に作成しておく必要があります。
「インストールの準備」でディスクの作成方法を説明しています。

ファーストステップガイド
ユーザーズガイド

インストールの準備

インストールを始める前に「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成してください。

[ヒント] すでにこの装置用の「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」をお持ちの場合は、再度作成する必要はありません。

マスターコントロールメニューから作成する

マスターコントロールメニューは、次のオペレーティングシステム上で起動します。

- Windows 95
- Windows NT 4.0
- Windows NT 3.51
- * Windows 98 では使用できません。

上記のオペレーティングシステムで動作しているコンピュータを使用できる場合は、マスターコントロールメニューから Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER を作成することができます。

次の手順に従って作成します。

- (1)3.5 インチフロッピーディスクを 2 枚用意する。
- (2)Windows 95 または Windows NT 3.51/4.0 を起動する。
- (3)CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」を CD-ROM ドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが起動します。

[ヒント] Windows NT 3.51 ではメニューが自動起動しません。エクスプローラなどで CD-ROM 内の「¥WINNT¥BIN¥MAKEFD¥MAKEOEM.BAT」を起動し、手順 5 へ進んでください。

- (4)[2nd](Setup Tool)を左クリックし、[OEM ディスクの作成]をクリックする。

[ヒント] 右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。

- (5)画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。

「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。

作成した「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをして、ラベルを貼って大切に保管してください。

Windows NT 4.0 のインストール
次の手順に従ってインストールします。

システムの電源 ON

- (1)システムの電源を ON にする。
- (2)Express サーバ [N8500-474/484/513/514] または、Express ワークステーション [N8700-109/110] の CD-ROM ドライブに Windows NT CD-ROM をセットする。
- (3)Windows NT CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたら、リセットする (<Ctrl>+<Alt>+キーを押す) か、電源を OFF/ON して Express サーバ または Express ワークステーションを再起動する。

Express サーバまたは Express ワークステーションが再起動します。

大容量記憶装置のセットアップ

- (1)システムの電源 ON 後、画面が以下のどちらかの状態の時に<F6>キーを押す。

セットアップは、コンピュータのハードウェア構成を検査していますの表示中。
青一色の画面の表示中。

「セットアップはシステムにインストールされている 1 つ以上の大容量記憶装置の種類を判断できませんでした」というメッセージと選択画面が表示されます。選択画面が表示されなかった場合は、<F6>キーが正しく押されていません。<F3>キーを押してセットアップを終了し、もう一度システムの電源を ON し直してから始めてください。

- (2)<S>キーを押す。

- (3)以下のメッセージが表示されます。[その他] を選び、<Enter>キーを押す。

メッセージ

次の一覧から使用する SCSI アダプタの種類を選択するか、
アダプタの製造元から提供されたデバイスサポートディスクが
ある場合は[その他]を選択してください。

- (4)「N8503-51 ディスクミラーリングコントローラ Promise FASTTRAK66 Driver」と明記されたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押す。

SCSI アダプタのリストが表示されます。

- (5)上記の SCSI アダプタリストから [Promise FastTrak(tm)/FastTrak66(tm) Controller] を選び、<Enter>キーを押す。

以降の作業はメッセージに従ってください。

セットアップの途中で、Windows NT をインストールするパーティションを設定する画面が表示されます。この時に表示される 16MB の不明領域は、Express5800 特有の構成情報や専用のユーティリティを保存するために使用されるパーティションです。この領域の削除は推奨しませんが、16MB の領域を確保させたくない場合は、「D = パーティションの削除」で削除してください。

作業を続けていくと Windows NT のファイルをインストールするディレクトリ名を入力する画面が表示されます。ディレクトリ名を入力して<Enter>キーを押します。Windows NT のファイルがハードディスクにコピーされます。

Windows NT セットアップ画面での設定

- (1)ファイルのコピーを終了後、メッセージに従ってフロッピーディスクと CD-ROM を取り出す。

システムを再起動すると、[ディスクの挿入] ダイアログボックスが表示されます。

- (2)Windows NT CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

- (3)CD-ROM ドライブのアクセスランプの点滅が終わってから、[OK]ボタンをクリックする。

以降は、画面の指示に従ってセットアップしてください。

詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

その他の設定

大容量記憶装置のセットアップ完了後は、メッセージに従って作業を続けてください。インストールの詳細については「ファーストステップガイド」を参照してください。

標準装備のネットワークのドライバ

標準でネットワークポートを 1 つ用意しています（装置背面にあります）。このネットワークポートを使用するために次の手順に従って専用のネットワークドライバをインストールします。（ドライバをインストールする際には、「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が必要です。）

Windows NT のインストール中に「[検索開始] をクリックするとネットワークアダプタの検索を開始します。」というメッセージの入ったダイアログボックスが表示されます。

- (1) [一覧から選択] ボタンをクリックする。

[ネットワークアダプタの選択] ダイアログボックスが表示されます。

- (2) [ディスク使用] ボタンをクリックする。

[フロッピーディスクの挿入] ダイアログボックスが表示されます。

- (3) 「Windows NT 4.0 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER #2」をフロッピーディスクドライブにセットする。

(4) 「A:¥I559」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

[OEM オプションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

(5) [Intel(R) PRO Adapter] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

(6) [次へ] ボタンをクリックする。

プロトコルやサービスの追加 / 削除を行うウィンドウが表示されます。必要に応じてプロトコルやサービスを追加 / 削除してください。

[重要] インストールしたネットワークドライバは、転送速度/Duplex モードの設定が必要です。OS のインストール後に、[コントロールパネル]の[ネットワーク]をダブルクリックした後、ネットワークドライバのプロパティダイアログボックスを表示させ、[Advanced]タブをクリックし、[Speed]と[Duplex]を HUB の設定値と同じ値に設定してください。

以降は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

インストールしたネットワークドライバは、転送速度/Duplex モードの設定が必要です。OS のインストール後に、[コントロールパネル]の[ネットワーク]をダブルクリックした後、ネットワークドライバのプロパティダイアログボックスを表示させ、[Advanced]タブをクリックし、[Speed]と[Duplex]を HUB の設定値と同じ値に設定してください。

システムのアップデート

システムを再起動後、必ず以下のようにシステムをアップデートしてください。

システム構成を変更した場合も再起動する前に必ずシステムのアップデートをしてください。(システム構成を変更した後、再起動を促すダイアログボックスが表示される場合は [いいえ] ボタンをクリックし、システムをアップデートしてください。) 修復プロセスを使用してシステムを修復した場合も必ずシステムをアップデートしてください。

(1)管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。

(2)CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」を CD-ROM ドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが表示されます。

(3)[2nd](Setup Tool)を左クリックし、[システムのアップデート]をクリックする。
Service Pack の選択をするダイアログボックスが表示されます。

[ヒント]右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。

(4)適用する ServicePack を選択する。

画面のメッセージに従って作業を進めると、[コンピュータの再起動]ダイアログボックスが表示されます。

(5)[コンピュータの再起動]ボタンをクリックしてシステムを再起動させる。

(6)システムのシャットダウン開始後、ただちに CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」を CD-ROM ドライブから取り出す。